

質問回答

2016年6月6日

「フィリピン国 バリューチェーン分析を活用した産業振興計画策定プロジェクト」

(公示日:2016年5月25日 / 公示番号:160294)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第3 業務の実施上の条件 2. (2)業務従事者の構成(案)	業務従事者の構成案について、貴機構で想定されている各業務従事者案の各担当業務内容についてご教示ください。	<p>本件では業務従事者の構成案・各業務従事者の担当業務内容については積極的な提案を求めています。従いまして、<u>以下はあくまで業務全体のイメージをつかむ目安として参考にしてください。</u></p> <p>1) 総括 / 産業振興 プロジェクト全体のマネジメント。第1フェーズのGVC分析の枠組み決定や施策案の立案、第2フェーズの詳細設計及び関係者との合意形成に至る一連の流れにおいて、チームマネジメント、関係者との折衝を行い、産業振興の専門性の見地から、クオリティの管理などを担う。</p> <p>2) GVC 分析 総括や他の分野の専門家と連携しつつ、第2フェーズのアウトプットも意識しながら、GVC分析の枠組みと手法を立案するとともに、経済指標、貿易統計、産業連関表などの指標や統計、インタビューなどを通じたGVC分析を実施する。</p> <p>3) 自動車・自動車部品産業 自動車・自動車部品の専門的な見地から、第1フ</p>

			<p>フェーズにおいては、GVC 分析の専門家をサポートし、分析に協力する。また、第2フェーズについては、自動車・自動車部品産業の特性を踏まえながら、現実的かつ効果的な産業振興施策案を立案・詳細設計をする役割を負う。</p> <p>4) カーエレクトロニクス 上記3)の専門家と同様。ただし、昨今の技術革新の速さも考慮し、自動車の電子化やモジュラー化といった将来のトレンド等も想定し、業務に反映する力が求められる。</p> <p>5) ビジネス環境・投資促進 第1フェーズにおいては、ビジネス・投資環境といった政策・制度的な見地から、現状の GVC の動きを分析したうえで、フィリピンの自動車産業の発展を阻害しているビジネス・投資環境を洗い出し、施策案に繋げる。第2フェーズにおいては、政策・制度的な側面化から、施策案を詳細設計するとともに、内外の投資促進が必要な場合には、内外の投資家が欲する情報をまとめるなどの役割を担う。</p> <p>6) 産業人材育成 産業振興施策の重要な部分を占めるとされる産業人材育成の現状を分析し、GVC 分析の結果などを参考にしながら、真に必要な施策案を立案し詳細設計を行う。特に、施策案が現実的なものになるよう、人材育成に必要な予算などとの費用対効果も考え、適切なアプローチとなるように工</p>
--	--	--	--

			<p>夫を凝らす。</p> <p>7) 業務調整 / 研修企画</p> <p>現地における活動経費の適切な支出を意識しながら、他の専門家をサポートする。本邦・第三国研修については、他の専門家と協力しながら設計し、一切のロジスティクスの調整を担う。</p>
2	業務指示書「6. 現地再委託」(14～15頁)	<p>プロポーザルでは現地再委託の実施・監督の方法、必要な業務内容と人月などについて可能な範囲で具体的な提案を行うとのご指示があります。この提案を行う際には、同委託業務に係る費用も見積もる(見積を提出する)という理解でよろしいでしょうか。また、その場合は、本体見積と別見積どちらに計上すればよろしいでしょうか。</p>	<p>現地再委託については、<u>提案する内容を踏まえ、本体の見積りに含めてください。</u></p>
3	業務指示書「7. その他の留意事項 (2)カウンターパートの出張旅費」(16頁)	<p>カウンターパートの出張旅費については分けて見積るとのご指示があります。ここで「出張」とは第三国スタディツアーを含み、第三国スタディツアーで発生するカウンターパートの出張旅費は、一般業務費(本体見積)ではなく別見積で計上するという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>第三国スタディツアーについては、提案する内容にもよりますが、例えば自動車・自動車部品の集積が進んでいるタイやインドネシア等の政策等を学ぶことを想定しております。そのため、航空賃など金額が大きく変動する可能性がありますので、<u>現段階では別見積もりとしてください。</u>また、カウンターパートの国内出張旅費については、現段階では JICA が負担することを想定しておりませんので、<u>見積もりに含めないでください。</u></p>

以上